

くらしの 目線で 市政を変える



日本共産党 京都市議員

です

URL <http://nishino-sathiko.jp/>

✉ shikai@nishino-sathiko.jp

● トンネルの天井落下を教訓に、 点検・補修の予算拡充を

西野 12月に山梨県の笹子トンネルの天井板が130mにわたって落下し、9人の死者を出した事故を受けて、京都市が管理している17のトンネルの通常点検の期間や点検方法などはどうか。また、国管理のトンネルの情報提供を求める。

答弁 目視による通常パトロールで点検している。点検期間の定めは無い。国に情報公開を求める。

西野 点検や補修に必要な予算を国にも求め、早急な対策を打つべき。また、橋りょうや通学路の安全対策に遅れの出る事がないようにすべき。

● イズミヤ出店問題 **住環境破壊にストップを**

西野 堀川丸太町のホテルニュー京都跡地にイズミヤの出店計画があるが、駐車場の出入口となる道が狭く、幼稚園の出入口に面している等、かなりの無理があるのではないか。

答弁 住民説明会でも意見があった。専門家の意見を聞く。大店立地法との関係でも考えていきたい。

西野 違法でなくても、住環境を壊すような計画に対しては強く指導すべき。

● 「北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議し、 拉致問題の一刻も早い解決を求める意見書」に 賛成討論

賛成討論の中で、北朝鮮が国連安保理決議に違反してロケットを発射し、事態を悪化させた事に対して強く抗議するとともに、拉致問題とロケット発射問題は切り離して考えるべきと指摘。拉致問題については、2002年の日朝平壤宣言に立ち戻り、日朝間の諸問題を平和的交渉によって解決すべきと求めました。



**東部クリーンセンターの
跡地活用は
住民の声を聞いて**

1月18日で東部クリーンセンターが休止されました。隣の余熱利用センターの温水プールは廃止され、図書館とお風呂は改修されて約1年後に再開されます。広大なクリーンセンターの跡地活用方法は、まだ、明らかになっていません。地域の皆さんの要望をお聞きして、決めるべきです。



**市営住宅の管理戸数を
減らすべきでない**

市営住宅ストック総合活用計画では、管理戸数が減ります。特に改良住宅は、住み替えなどで集約し、空いた団地を取り壊す計画です。計画の見直しを示し、住民の理解と納得を得る説明が必要です。今でも平均応募倍率が高いのに、戸数が減ると更に倍率は高くなります。市営住宅の拡充こそ必要です。

岡田山は全量撤去を

産廃の山、通称岡田山の20年間にわたる第一次の撤去計画が示されました。しかし、全量撤去ではありません。岡田山の全量撤去は住民の悲願です。住民の期待を裏切らない計画が必要です。